

平成 28 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 日本パワーファスニング株式会社
代表者名 代表取締役社長 土 肥 智 雄
(コード番号 5950 東証第2部)
お問合せ先 取締役常務執行役員 管理本部長
小 西 良 幸
電 話 0 6 (6 4 4 2) 0 9 5 1

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。また、それらの影響を加味した最近の業績動向などを踏まえ、本日開催の当社取締役会において、平成 27 年 8 月 7 日に公表しました通期連結業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社グループが保有する固定資産のうち、中国生産の一部を国内に移管するなどのグループ生産体制の再構築を進めたことにより遊休状態となった固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき検討した結果、「減損損失 74 百万円」を特別損失として計上することとなりました。

2. 業績予想の修正

(1)平成 27 年 12 月期 通期連結業績予想値の修正(平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 8,000	百万円 △430	百万円 △450	百万円 △470	円 銭 △28 24
今 回 発 表 予 想 (B)	8,150	△500	△595	△720	△43 20
増 減 額 (B-A)	150	△70	△145	△250	
増 減 率 (%)	1.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 12 月期)	8,434	△271	△178	△245	△14 68

(2) 修正の理由

売上高は営業部門の拡販活動等によって前回予想を若干上回る見込みとなりましたが、利益面におきましては販売価格の改定交渉や中国生産品の国内移管並びに人件費等の固定費削減が計画を下回ったことなどにより、営業利益は前回予想を 70 百万円下回る見込みとなりました。また、8 月以降の中国人民元の下落による為替差損約 70 百万円の発生等により、経常利益は前回予想を 145 百万円下回る見込みとなり、さらに上記の特別損失計上等により、当期純利益は前回予想を 250 百万円下回る見込みとなりました。

※業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上